
編集後記

1955年にハーバード大学の経営学者であるロバート・L・カッツは、ビジネススキルを「テクニカルスキル」、「ヒューマンスキル」、「コンセプチュアルスキル」の“3つの基本スキル”，いわゆる「カッツモデル」に分類した。以後，航空安全を守る領域にて，いち早くこのモデルが応用され，現在では医療の領域でも医療安全の観点から，後者の2つである「ノンテクニカルスキル」が重要であると認識されている。

“在宅に向けて～”あるいは“在宅において～”その対象者に関わりをもつ複数の立場の職種がチームとして問題解決のためのスクラムを組み，対象者の安心・安全を担保しながら，その人らしい生活が継続できるよう奮闘している。個々に職種特有の「テクニカルスキル」を高めることは当然のことであるが，決して崩れないスクラムを組むためには，何よりもお互いに相手を理解（comprehension）することが不可欠であり，それぞれの職種が「ノンテクニカルスキル」を高め，チーム力を高めることが求められる。

対象者の“在宅生活”を支える多職種が，お互いの理解を深め合い“one team”として進むにあたり，本巻が少しでも一助となれば幸いである。

令和元年12月21日

京都在宅リハビリテーション研究会 世話人代表 木村篤史

京都在宅リハビリテーション研究会誌

第13巻

令和元年12月21日 発行

編集者

京都在宅リハビリテーション研究会事務局

(木村篤史，永山智貴，小西倫太郎，神田佳明，森川重幸，堀田直樹，
浅野翔平，村富渚，中島隆輔，増馬裕太郎)

発行者

木村篤史

〒629-0392 京都府南丹市日吉町

明治国際医療大学附属病院 総合リハビリテーションセンター

Tel 0771(72)1221